

治療の基本は医療用弾性ストッキング

下肢静脈瘤の治療は、圧迫療法(弾性ストッキング)が基本です。

医療用弾性ストッキングとは

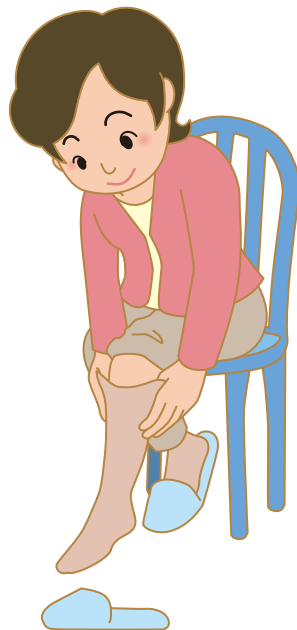
弾性ストッキングとは、強い圧で足をしっかり圧迫するように作られたストッキングです。下肢静脈瘤で弾性ストッキングが用いられるのは、静脈瘤の圧力に負けないように外側から支えて、静脈の逆流によるうっ血を防ぐのが狙いです。足の静脈血、リンパ液のうっ滞をやわらげます。

弾性ストッキングは、足首の部分の圧力が一番強く、上にいくにしたがって段階的に圧が弱くなるよう設計されていて、血液が心臓方向へ流れやすいようにつくられています。

弾性ストッキングは一般の薬局などでむくみ防止の市販のストッキングも売られていますが、下肢静脈瘤には医療用の弾性ストッキングがあります。

医療用弾性ストッキングは、足のむくみ改善・血行促進効果を認められ、医療機器として厚生労働省から認可を受けています。

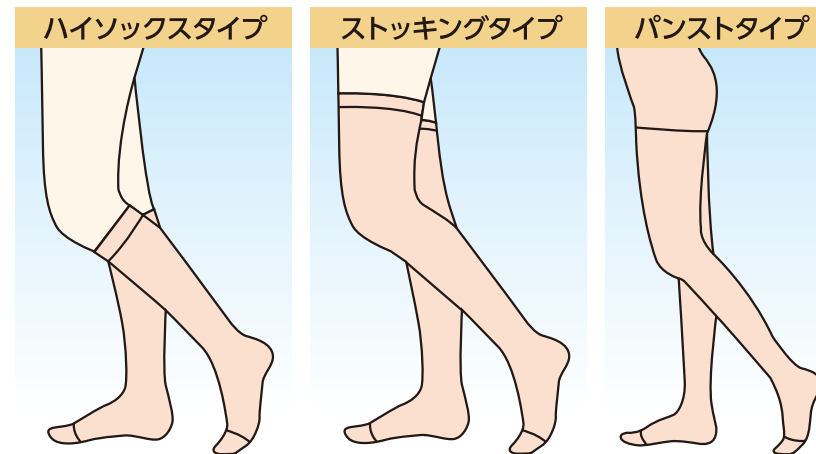
ハイソックスタイプが基本ですが、太ももまで丈があるストッキングタイプやパンストタイプなどの種類があります。



医療用弾性ストッキングの選び方

自分に合った医療用弾性ストッキングを選ぶときは、タイプ、サイズ、圧迫圧を確認します。

タイプで選ぶ



通常はハイソックスタイプを選択します。

静脈瘤の位置が大腿部まである場合や静脈瘤手術後の場合は、ストッキングタイプ・パンストタイプを選択することがあります。

外反母趾や足指の通気性が気になる場合は、つま先なしタイプもあります。

サイズで選ぶ

足首、ふくらはぎの周囲径を測ってサイズを決定します。

圧迫圧で選ぶ

静脈瘤や強いむくみの予防には、中圧タイプ(20~30mmHg/27-40hpa)をお勧めします。

■サイズ表(単位: cm)

サイズ	適応範囲	基本	
		足首周径	ふくらはぎ周径
L		21~25	36~42
M		19~23	32~38
S		17~21	28~34